



12月19日、中心市街地としてにぎわいをみせている寺尾上土棚線の一部が4車線になりました。あんなに渋滞していたのに今ではうそのようにスムーズです

飛散アスベスト問題に対する市としての対策を万全に

神奈川ネット 渡部 市代

問 アスベストの恐ろしさは、気づかぬうちに吸い込んでしまい、数十年後に肺がんや中皮腫などの病気になる可能性があるというところである。特に、アスベスト含有の建築物の解体時の飛散が、最も深刻な問題である。公共施設に対しては、早期に補正予算を組み対応しているこ

とは評価するが、今後の課題である民間建築物に対するアスベスト対策は。また、アスベスト含有の一般廃棄物に対する対応もまだだが、次期作成予定のごみ収集カレンダーにアスベスト含有の一般廃棄物の廃棄方法や問い合わせ先等を記載し、アスベストの飛散拡大を防いでいるかどうか
答 公共施設のアスベスト調査では、七十六施設中二カ所において除去をする。市内の民間建築物については、国の指導で県が調査しており、調査対象の建物九十一棟のうち、五棟に吹き付けがあったが、市には指導権がなく国・県が適正に指導しているため、その動向を見守っている。また、県土木事務所で建築確認の許可を行っていることから、市では細かな状況を把握できないが、市民の不安解消と健康を守るため、約二万九千棟に独自調査が可能か検討し、前向きに対処していきたい。一般廃棄物の関係は、収集困難物にあたる場合も含め、よく情報収集し新分別ガイドの中に工夫し載せていきたい。

医療費抑制のため地域に出向き健康教育を実施しては

公明党 矢部とよ子

問 高齢化により増大する医療費を抑制するには、疾病の早期発見・早期治療に努めることや人口透析など高額医療につながる糖尿病などの生活習慣病を若い段階から予防していく必要がある。本市では健康づくりとして、意識調査や基本調査後のフォローなど細部にわたり実施して

いるが、受診者を増やすことが重要である。また、保健医療センターを中心に実施している各種健康教育を今後は地域ごとに開催し、健康普及員と連携を取りながら、だれもが参加できるきめ細かな内容とすることで、参加者の増大を図るべきでは。
答 市民一人ひとりがつくるいきいき健康のまちづくりを目指し、健康づくりに対する意識や意欲を高めるため、糖尿病、高血圧、骨粗しょう症、高脂血症などの健康教育と保健師と栄養士が講話や相談を行う出張ミニ健康講座を開催している。また、基本健康調査後は健康教育や健康相談の開催案内を個別通知しており、今後はさらに生活習慣病の予防と改善に役立つよう結果説明会を実施していく。地域ごとにだれもが参加できる健康教育の開催は、健康あやせ普及員と協力して出張ミニ健康講座の拡充から実施していきたい。(他に「教育費への助成について」を質問)

やりっぱなしではなく目標を掲げ達成する意識を

清水 勝利

問 市長は施政方針の中で、お役所仕事からの脱却を目指すとした。役所はやるだけはやるが、目標を掲げ達成する意識が不足しているように思う。市民には、何億円とか何トンとかでなく、ごみに一人当たり一回何百円かかりますなど、実感の持てる小さな数字を具体的に挙げ、協力を得るような意識も、今後必要である。ごみの削減を最終目標に、水切り容器を全戸配布するという小さな目標を掲げたが、全戸に配布できなかったのか。また、今年度中に必ず全部配り終えてもらいたい、もともとどのようなテクニックを使って全戸に努める。

配布しようと考えていたのか。
答 職員には、市民への情報提供とともに目標管理、コスト管理あるいは費用対効果の検証等をしつかりとさせた。生ごみ水切り容器については、可燃ごみが特に減らないため、ごみの減量に効果の大きい水切りのPR手段として配布するもので、自治会の協力が最大で現在二万五千九百三十個を配布したほか、市民課窓口での転入者への配布や美化センターをはじめとした公共施設等及び各行事で配布し、全体で二万七千五百個を配布した。理想は全戸の三万一千世帯に行き渡ることだが、そう簡単でないのが現実であり、もっと広報紙等で周知し配布に努める。

部活動により学校の変更ができる制度の流れと状況は

新政会 山田 晴義

問 部活動は中学校生活において大変大きな影響を持つ学習の機会であると考えている。そのような意味からも部活動は非常に重要であると認識していると思われるが、中学校における部活動の役割と意義、また、所属の状況、さらに部活動により学校の変更ができる制度導入後の経過

と状況、教員の人事異動と部活動顧問との関連について伺いたい。また、教員だけの運営が難しい状況であるのならば、部活動の指導顧問や指導協力者を増強し、部活動の円滑な運営を目指すべきではないか。
答 部活動の役割と意義は、能力や技能を伸ばす中で自己の個性を発見し自己実現が図れ、併せて活動を通して好ましい人間関係を育てることである。また、今年度の加入率は五月時点で八十三・五％となっている。さらに、部活動による学校の変更については、六年生全員に文書を配布して、希望者には説明会を開催し、実際に見学をさせた上で保護者と面談して決めており、今年度は十五名を受け入れた。また、人事異動と部活動顧問に関しての配慮は難しい状況であるため、部活動振興会を中心に指導顧問、指導協力者の派遣を積極的に行い課題の解決を図る。(他に「校内研究の現状と成果について」を質問)

「市議会報あやせ」発行と配布場所のお知らせ

「市議会報あやせ」は、年四回の発行。二月、五月、八月、十一月の各十五日の新聞(休刊日の場合は十四日)の朝刊に折り込んで、皆さへのご家庭にお届けしています。折り込んでいる新聞は、読売、朝日、毎日、産経、東京、神奈川、日本経済の七紙です。
また、新聞未購読世帯の皆さんのために、発行日には、次の公共施設や駅にも置いてあります。

- 寺尾児童館
- 小園児童館
- 保健医療センター
- 市民スポーツセンター
- 中央公民館
- 各自治会館
- 各地区センター
- 寺尾いずみ会館
- 南部ふれあい会館
- 図書館
- 駅舎
- 相模大塚 相模大塚
- 相鉄 さがみ野
- 相鉄 かしわ台
- 相鉄 海老名
- 小田急 海老名
- 小田急 長後
- ながつ児童館

